

# 大学が危ない！

## 「国立大学改革プラン」

第3期中期目標・中期計画(平成28年度～)

### <運営費交付金の3割を改革に重点配分[文科省、財務省]>

大学を3つのグループに色分け  
どこから捻出？ どこに配分？ 部局の整理・改組？

### 次々に明らかになるその恐ろしい内容

- OECD 閣僚理事会での安倍首相の基調演説（平成26年5月6日）  
「学術研究を深めるのではなく、もっと社会のニーズを見据えた、もっと実践的な職業訓練を行う、そうした新たな枠組みを、高等教育に取り組みたいと考えています」
- 日本再興戦略（平成26年6月24日 閣議決定）  
「運営費交付金や評価の在り方の抜本的な見直しに向けた検討を開始し、(中略) その際、産業界及び地域等のニーズを踏まえつつ、(中略) 重点的・戦略的配分を行うルールを具体化する。」
- 国立大学法人評価委員会－国立大学法人の組織及び業務全般の見通しに関する視点－（平成26年8月4日）
  - ・「ミッションの再定義」を踏まえた組織改革
  - ・教員養成系、人文社会科学系は、組織の廃止や社会的要請の高い分野への転換
- 東京新聞（平成26年9月1日）  
「全国の国立大学法人86校のうち約9割にあたる76校で、計77人の文部科学省出身者が理事や副学長、事務局長などの幹部として在籍している」
- 学校教育法及び国立大学法人法等の改正（平成27年4月1日施行）
  - ・教授会は、学長が教育に関する重要な事項について決定を行うに当たり意見を述べることとする
  - ・学長のリーダーシップの確立
  - ・学長によるポストの再配置、学長のビジョンに沿った予算編成・配分
  - ・経営協議会は過半数が外部委員

**まだまだあります**

**着々とその準備は進んでいます**

**近い将来こんなことが起こりえます。しかも、教授会は抵抗ができません**

世界的な学術研究をしているある研究室で後任人事を始めようとしたら、当局よりストップがかかり、「ミッション再定義(大学の色分け)にそぐわず、産業界の役に立たないのでポストを召し上げます」と言われるかも…。戦前に戻ってしまいそうです。

2014年11月5日  
東北大学職員組合  
執行委員会